(仮称)豊平地区再編小学校新築ほか工事基本・実施設計

株式会社アトリエブンク

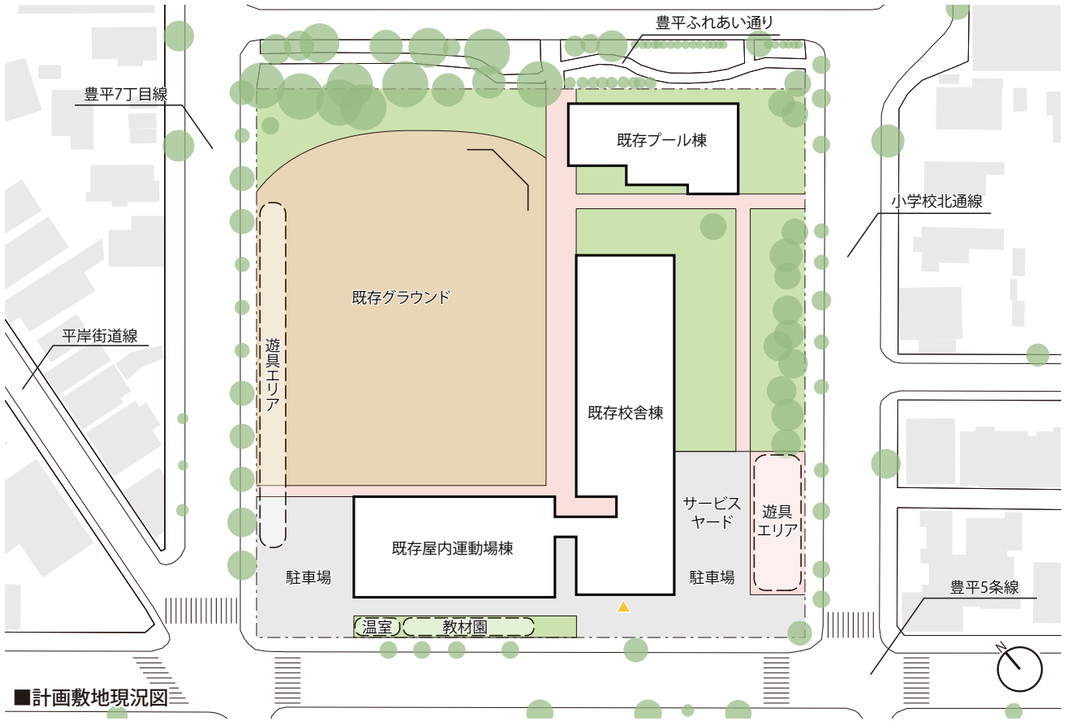
第 1 回新築検討協議会｜2026/10/20

■計画地

住　　所：札幌市豊平区豊平 5 条 7 丁目 1 番 2 号
敷地面積：11,900.82 ㎡
用途地域：第一種住居地域（建蔽率 60%、容積率 200%）

■周辺の状況

敷地は東豊線学園前駅のほど近くに位置し、周囲は街路樹に囲まれた自然豊かな環境です。敷地の四方は道路に面しており、道路を挟んだ周辺には宅地が広がっています。敷地北東側には、豊平ふれあい通りと呼ばれる緑道が整備されています。



■計画敷地現況図

■現行敷地及び建物

・現校舎は、昭和 53 年に鉄筋コンクリート造地上 4 階建てで建設され、屋内運動場は渡り廊下で接続されています。
・校舎は敷地南側、プール棟は敷地東側、グラウンドは敷地北西側に位置しています。
・敷地南東側には、校舎と道路の間に遊具が配置された空間があります。
・校舎の昇降口は南西側に向けて配置されています。
・主出入口面以外にはフェンスや擁壁が設置されています。
・敷地北東面中央から、豊平ふれあい通りに出入りできます。

■施設計画概要

既存施設
・校　　舎：約 4,655 ㎡
・屋内運動場：約　864 ㎡
・プ ー ル 棟：約　504 ㎡

改築施設
・校　　舎：約 7,600 ㎡
・屋内運動場：約 1,370 ㎡
・プ ー ル 棟：解体し新規整備は行わない

・児 童 会 館：約　450 ㎡
・地区会館等：約　450 ㎡

■整備諸室

1.　校舎棟
・普通教室　　：18 教室
・特別支援学習室：5 教室 + プレイルーム
・特別教室　　：理科室、家庭科室、図工室、第一音楽室、第二音楽室、図書室
・余裕教室　　：3 教室
・多目的室　　：3 教室（一般、少人数対応、ICT 対応）　※多目的室（ICT 対応）は図書室と一体的に整備
・管理諸室　　：職員室、校長室、保健室、教育相談室、用務員室、職員更衣室（男女別）
・共用部　　：昇降口、トイレ（男子、女子、みんなのトイレ、多目的、職員用）、備蓄庫、配膳車置場
・その他　　：塵芥庫、機械室、ポンプ室、PTA 室、郷土資料コーナー、給食室、教材庫

2.　屋内運動場
・アリーナ、器具庫、楽器庫、音響室、開放用玄関、指導員控室

3.　屋外環境施設
・教材園、グラウンド用物置

4.　児童会館
・事務室、集会室、遊戯室（プレイルーム）、クラブ室、多目的ホール

5.　地区会館等
・事務室、会議室、集会室、調理室、給湯室

■配置計画のポイント

「小学校施設整備指針（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部）」、「（仮称）札幌市立豊平地区再編小学校新築工事事業計画書」及び敷地の周辺環境や現状建物配置等から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。

1）安心・安全で機能的な学校
・各車両の動線と児童の動線を分離を徹底し、歩行者の安全確保を行います。
・屋内運動場を緊急避難施設として利用する際の機能性に配慮します。

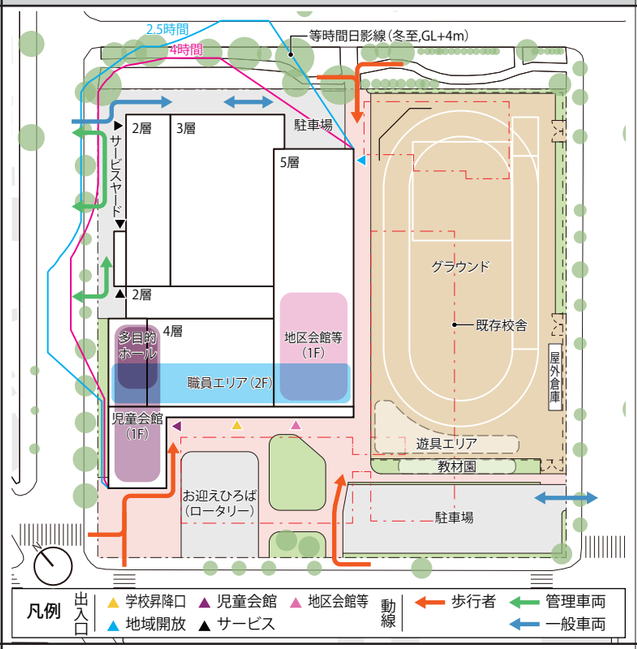
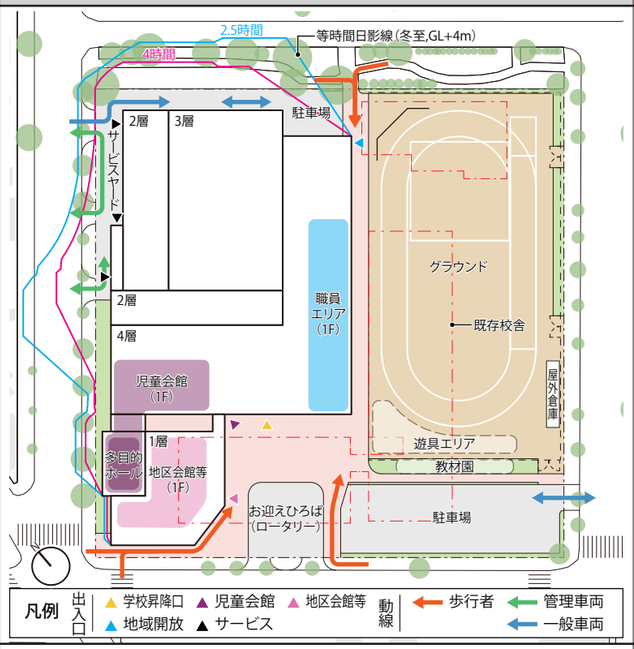
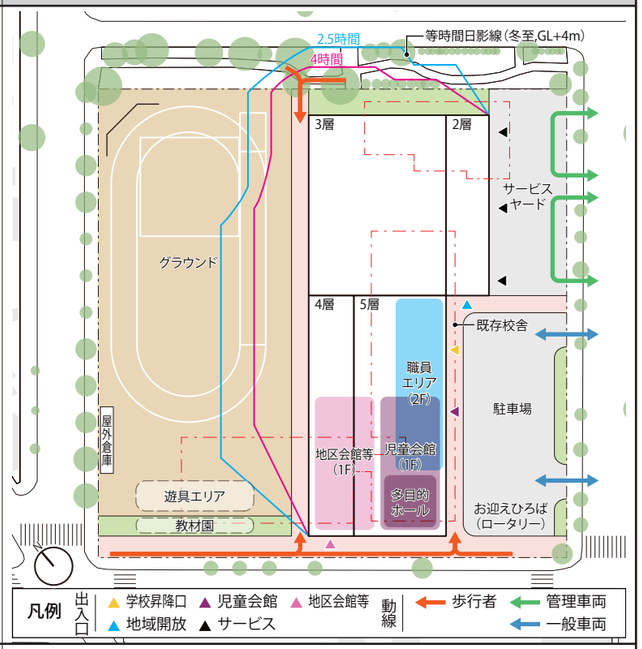
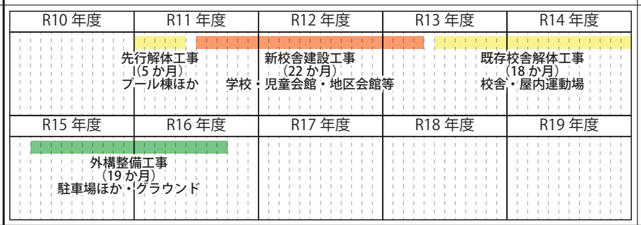
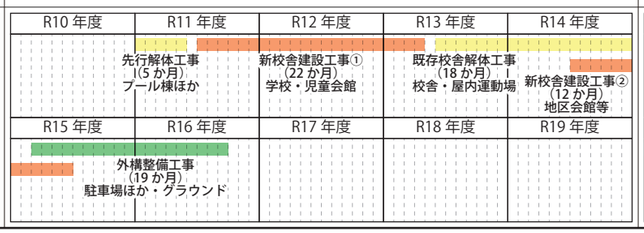
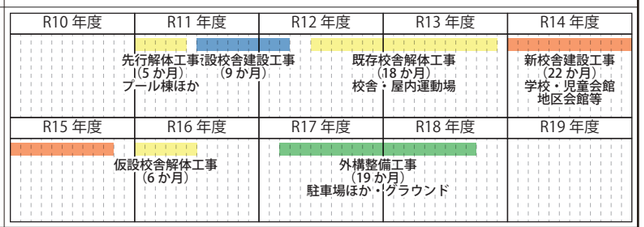
2）周辺環境との調和
・周辺環境への日影が最小限となるような建物形状や高さとします。
・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南西面・南東面から採光可能な配置とします。
・周辺の住宅地等に調和する校舎デザインとします。

3）屋外環境
・グラウンドは最大限の面積を確保します。
・十分な数の施設利用者用駐車場を整備します。

4）経済性
・仮設校舎が不要な建替え計画、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。
・与条件を満たしながらコンパクトな計画とします。

5）工期・施工計画
・児童の学習・活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
・工事中の児童の安全性を確保した工期、施工計画とします。

■配置比較表

	A 案（5 階建て案）	B 案（4 階建て案）	C 案（仮設校舎案）
配置計画図			
校舎階数	△ 5 階建て	○ 4 階建て	△ 5 階建て
歩車分離	○ 明快な歩行者経路 サービスヤードや駐車場を歩行者通路から離して整備	○ 明快な歩行者経路 サービスヤードや駐車場を歩行者通路から離して整備	△ 歩行者経路がやや複雑 昇降口とサービスヤード、駐車場がやや近接
学習環境	△ 2 階に職員室、2~5 階に普通教室・特別支援教室を配置 5 階建てのため上下階の移動が負担となる B 案に比べ、昇降口とグラウンドの見守りが困難	○ 1 階に職員室、2~4 階に普通教室・特別支援教室を配置 職員室から昇降口とグランドの両方が見渡せる	△ 2 階に職員室、2~5 階に普通教室・特別支援教室を配置 5 階建てのため上下階の移動が負担となる B 案に比べ、昇降口とグラウンドの見守りが困難
近隣への影響	○ 北側の日影に配慮した形状	○ 北側の日影に配慮した形状	○ 現状とほぼ同じ
グラウンド	○ 整形 グラウンドへの日当たりが良い	○ 整形 グラウンドへの日当たりが良い	△ 整形 建物の影ができるためグラウンドの一部への日当たりが悪い
仮設校舎の要否	○ 不要	○ 不要	× 必要
複合する施設の使いやすさ	△ 多目的ホールが地区会館等と隣接していないため 学校共用部を経由して出入りする必要がある	○ 多目的ホールが地区会館等と隣接しており 学校共用部を経由せず直接出入りができる	○ 多目的ホールが地区会館等と隣接しており 学校共用部を経由せず直接出入りができる
工事期間	○ 工事期間が短く、児童・先生・住民の方々への負担が少ない	○ 工事期間が短く、児童・先生・住民の方々への負担が少ない	△ 工事期間が長く、児童・先生・住民の方々への負担が大きい
概略工程表			

※注）本資料に示す概略工程表は配置・平面の検討において想定したものであり、改築工事の事業スケジュールを確定するものではありません。

多様な使い方ができるお迎えひろば

・児童会館の送迎者の待機スペース
・課外授業スペース
・遠足時の一時待機スペース
・校外学習時のバスの一時待機スペース

安心安全な児童の通学動線と歩車分離

・昇降口前面に十分な幅員のアプローチ（エントランスひろば）を確保
・敷地中央で北東から南西に貫通する敷地内通路を確保
　北東側の緑道から昇降口へのアプローチ動線を確保
・校舎一階をセットバックしたピロティ空間と、地区会館等の外壁に設けた庇により雨に濡れずに通行可能な歩行者通路を確保
・学校昇降口、児童館玄関、地区会館等玄関、学校開放玄関の全ての出入口を歩行者通路沿いに設置
・昇降口までの動線は、歩行者と車両が交差しないように整備
・駐車場、給食・ゴミ収集の車両動線は敷地内歩行者経路の交差しない位置に確保

ゆとりある駐車スペースと維持管理への配慮

・交通量の多い南西側前面道路の付近に駐車場を集約して配置
・学校開放玄関の付近に駐車スペースを確保
・グラウンドへの堆雪を考慮して、建物周囲には除雪車が通行可能な離隔を確保

機能的な職員室の配置

・職員室を１階に配置することで、昇降口・グラウンド・エントランスひろばへの視認性を確保でき、安心安全に配慮した見守りが可能
・管理諸室を１階職員室の周囲にまとめて配置し、各室の連携に配慮

周辺への配慮

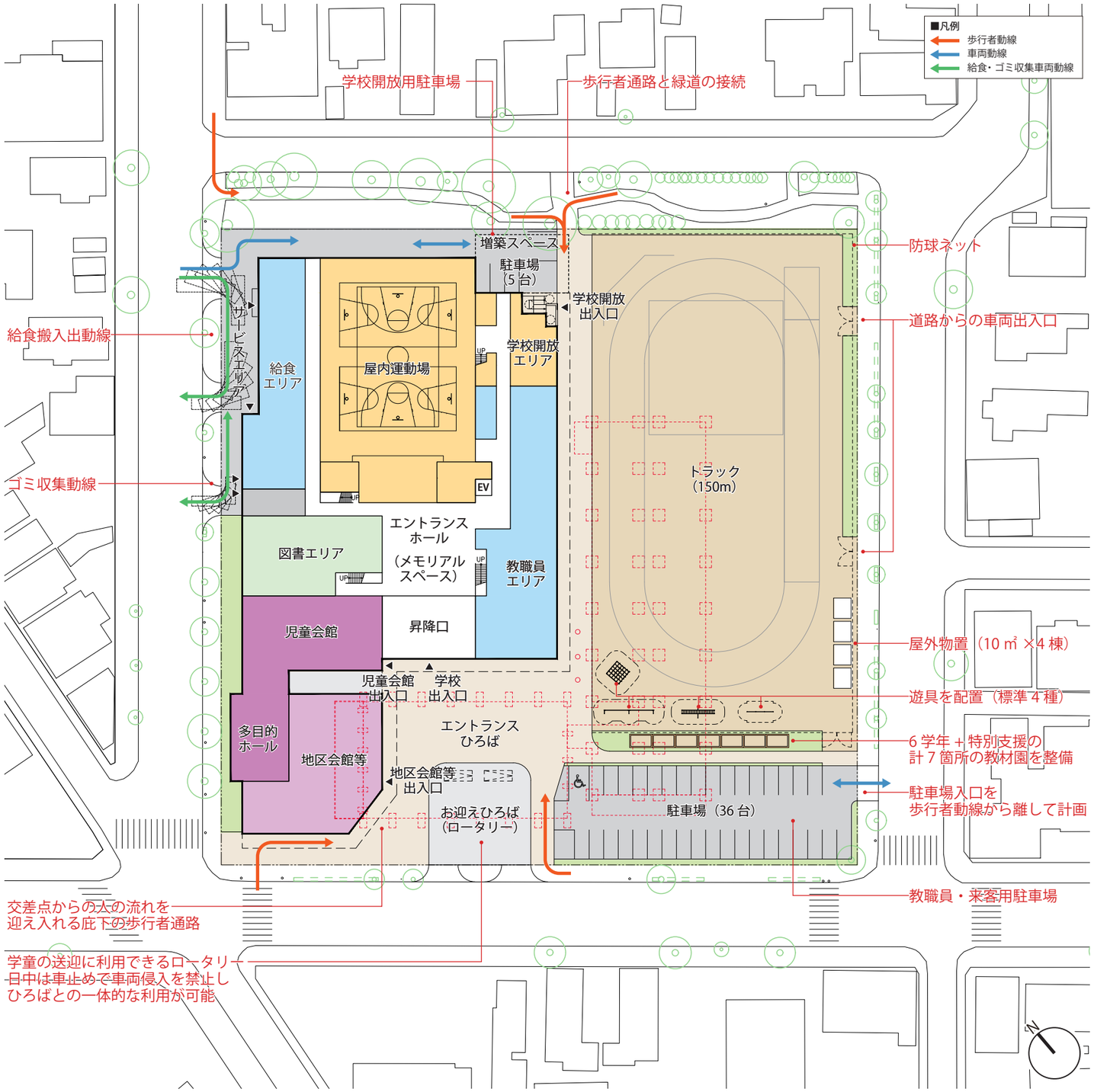
・敷地北側に 2層の給食棟や 3層の屋内運動場棟を設けることで、北西側前面道路への建物の圧迫感を軽減するとともに、日影による影響を抑える

複合する核施設の連携しやすい配置

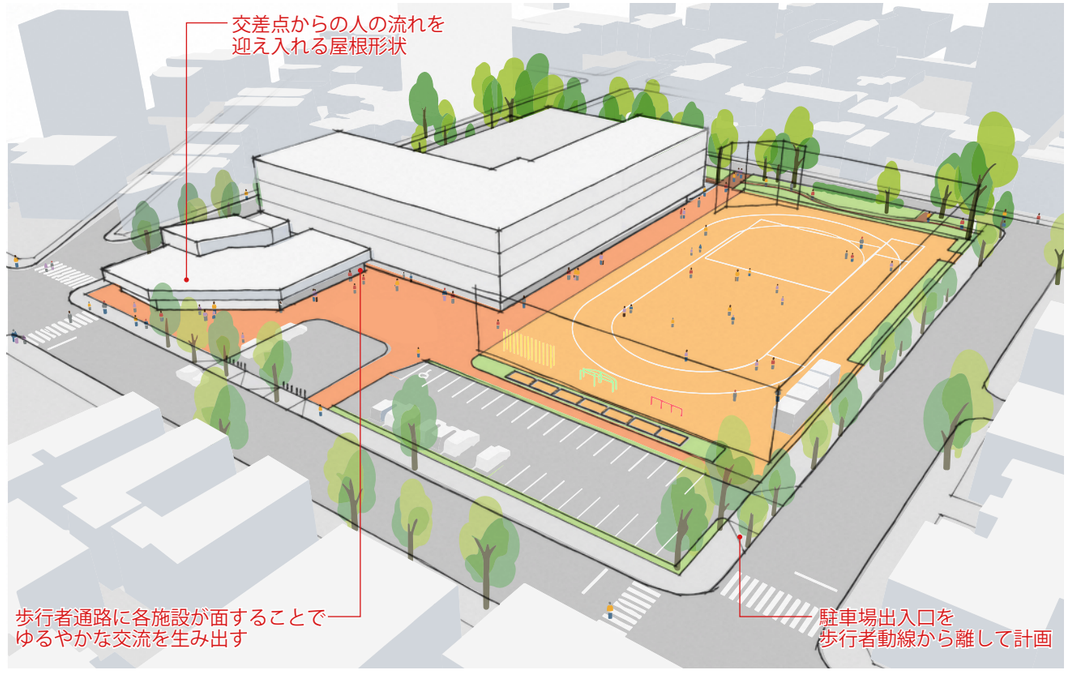
・児童会館から昇降口・図書室へ直接行き来できる動線を確保
・地区会館等から児童館の多目的ホールに直接行き来できる動線を確保

魅力ある室内開放空間の創出

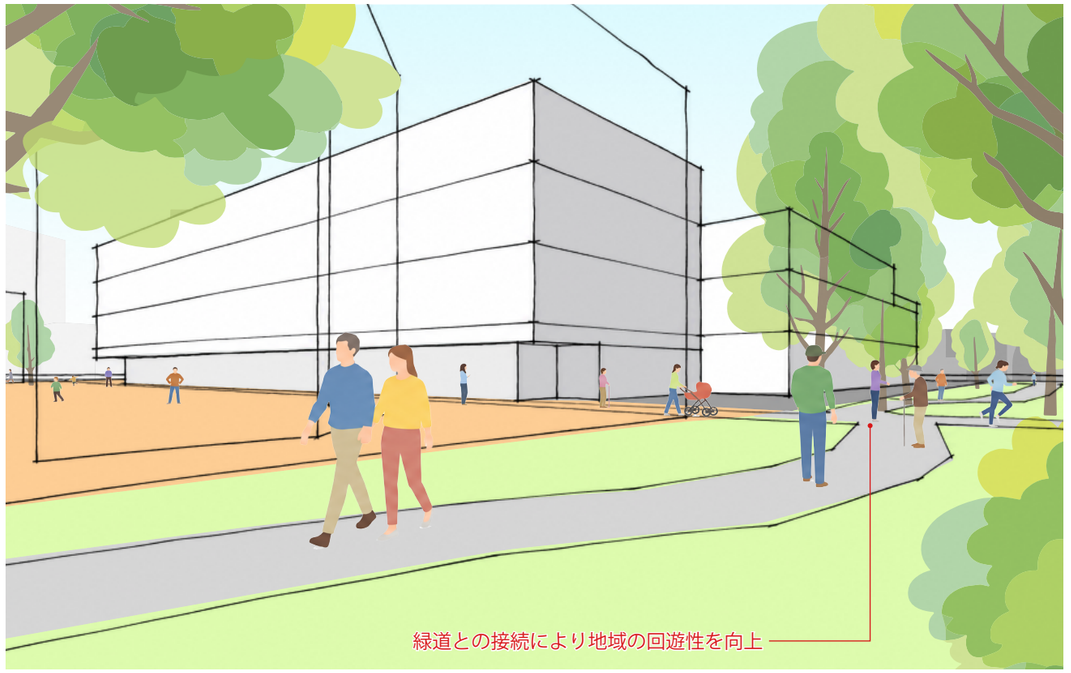
＜エントランスホール、メモリアルスペース＞
・昇降口から連続する 2層吹抜けのホール空間
・統合する 2校の歴史を継承する展示スペースを確保
＜図書室＞
・エントランスホールに隣接して配置し、一体的に利用可能とする
・図書室と多目的室（ICT）を集約し、学習空間としての多様な使い方に対応可能



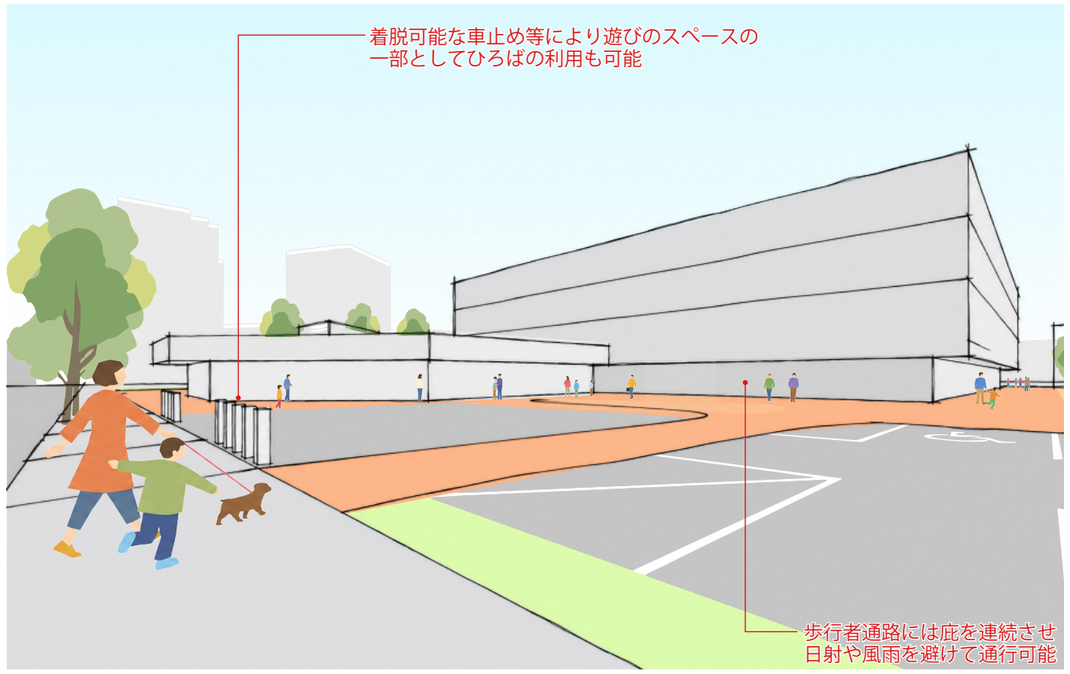
配置図イメージ（S＝1/800）



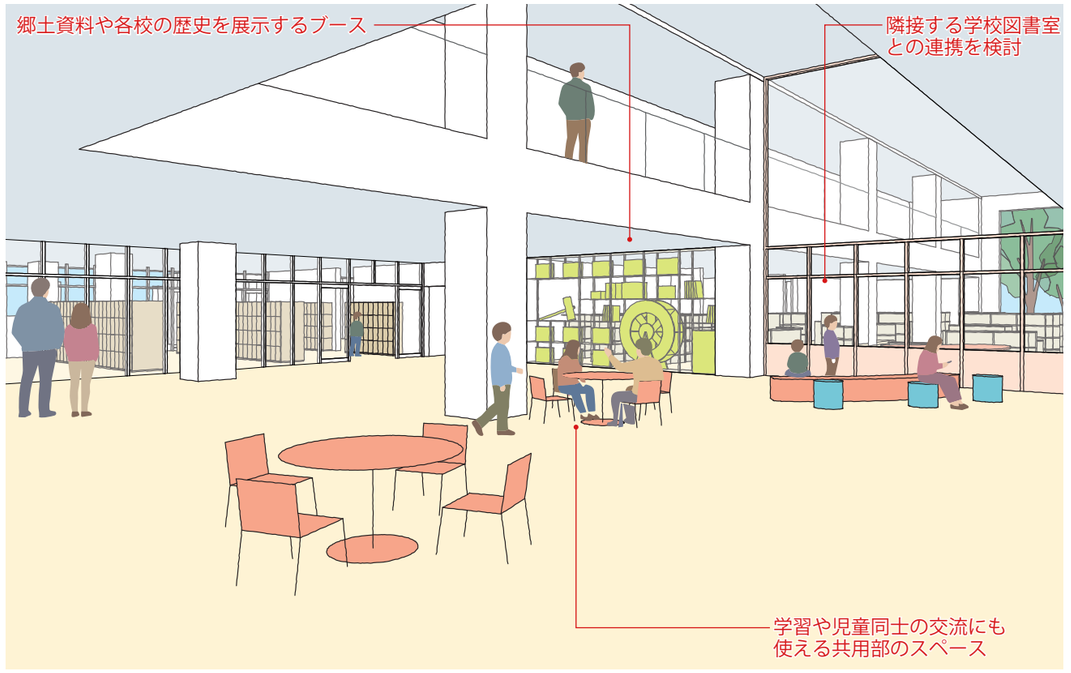
■鳥瞰イメージ



■豊平ふれあい通りから見た外観イメージ



■エントランスひろばと外観のイメージ



■エントランスホール内観イメージ